

[001]鷹・鷹場・環境研究

<https://hdl.handle.net/2324/1807175>

出版情報：鷹・鷹場・環境研究. 1, 2017-03-25. 九州大学基幹教育院
バージョン：
権利関係：

〔編集後記〕

ここに『鷹・鷹場・環境研究』創刊号を無事に上梓することができました。短い準備期間でありながら、原稿をお寄せいただきました執筆者の皆様には心よりお礼を申し上げます。

さて、研究代表者が鷹場研究の最初の論文を発表したのが1991年。その後も鷹や鷹場に関する研究を気にかけてながらも、成果となるものを具体的に発表することもなく過ごしてきました。ことが大きく動いたのは、2014年です。親しくしているオハイオ州立大学のフィリップ・C. ブラウン教授から東アジア環境史学会第3回大会でのセッション参加を誘われ、副代表の武井弘一氏とともに、本誌に掲載した論文のもとになった報告をすることになりました。ほぼ1年をかけて準備し、2015年10月22日から25日にかけて香川大学で開催された大会で、「Earth, Water, & Air: Quotidian Human Interactions with the Environment in Early Modern Japan」をセッション・テーマとして報告いたしました。これがきっかけで科研申請を検討し、全国の研究者に声をかけることになったわけです。2015年9月には、日本列島上における鷹と鷹場と環境の問題を問う全国的な研究組織を立ち上げることができました。研究代表者が25年間温めてきたテーマにご賛同いただけたというのは、実に感慨深いものがあります。

加えて、メンバー各位の御協力を得て、鷹・鷹場文献データベースの構築、全国鷹場所在情報の収集と、わずか1年間で共同研究の基盤を作ることができたことは感謝に絶えません。その基盤のうえに、今後は個別具体的な研究成果を発信していくこととなります。地道な研究を着実に続けていく所存ですが、多くの方々のご助言やご意見を賜ることができれば幸いです。

なお、本号には特別寄稿として、金沢市立玉川図書館近世史料館で開催された特別展示の図録を掲載することができました。ご執筆された林亮太氏、また掲載をご許可いただきました関係者の皆様には心よりお礼申し上げます（文責：福田千鶴）。

鷹・鷹場・環境研究 創刊号 2017年3月25日発行

編集 鷹・鷹場・環境研究会

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

九州大学基幹教育院福田研究室 Phone: (092) 802-6019

発行 九州大学基幹教育院

印刷 (株) ミドリ印刷

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6-17-12 Phone: (092) 292-0300 (代)

The Journal of Hawks, Hawking Grounds, and Environment Studies Vol.1

Published in March 25, 2017

Edited by the Society for Hawks, Hawking Grounds, and Environment Studies

Office: 3404, Faculty of Arts and Science, Kyushu University,

744, Motooka, Nishi-ku, Fukuoka, 819-0395, Japan

E-mail: fukuda.c@artsci.kyushu-u.ac.jp Phone: +81 92-802-6019